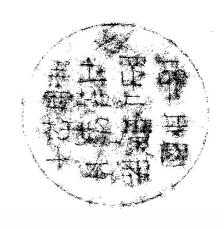
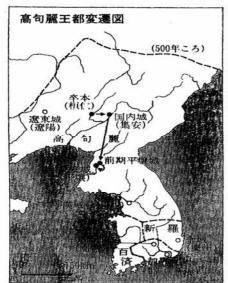
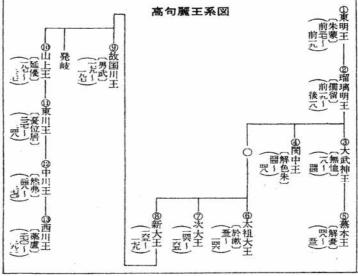
2008年9月13日 古墳時代の日韓関係と筑紫

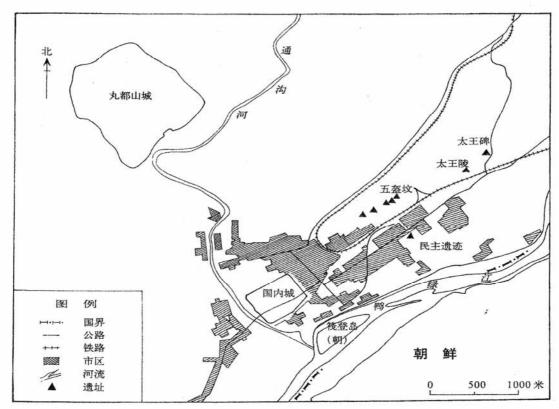
高句麗の好太王碑をめぐって

- 1. はじめに
- 2. いわゆる好太王碑について
- 3. 好太王の陵碑と王墓の問題
- 4. とくに辛卯年条をめぐって
- 5. おわりに

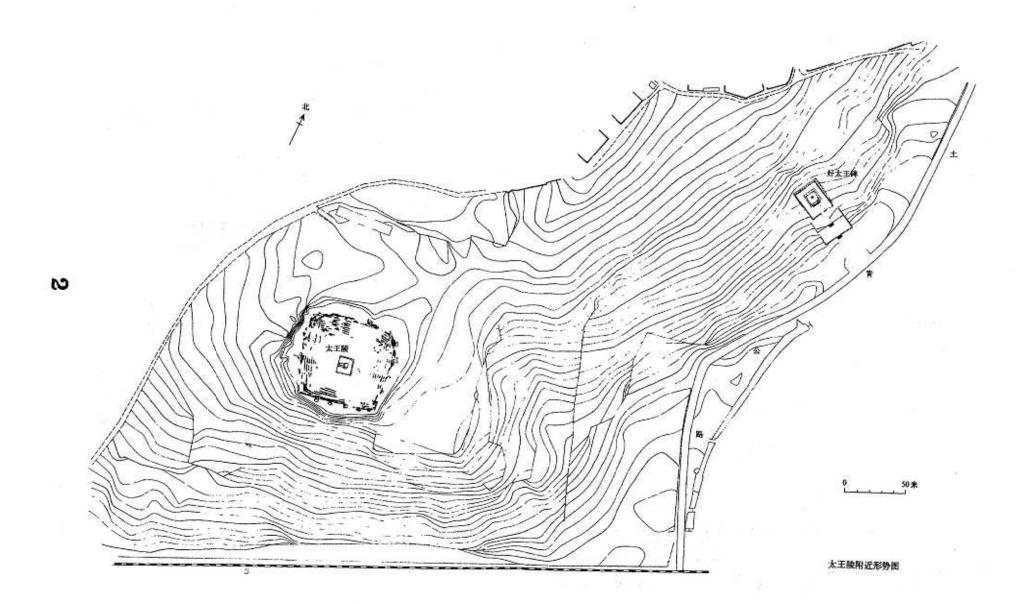








国内城地理位置图









ti .1

4) 又制守墓人自今以後不得更相転壳雖有富足之者亦不得擅買其有違令壳者刑之買人制令守墓之

西州森

令構構結照個點

海田田宝 (4)															
電子では、 作主する。 下見手動															
□ & . ■ Ø:															
	14	13	12	11	10	9	8	7	ti	5	4	3	2	1	
	2021	<u> </u>			1000		7.5 Name)(\$) 01870	5452	18 16 7	: 58	J	10.00	*	
ħ	成	见上	看出	家	丛	民	193								1
リ紀		见古城国 烟	如公	為看	出	宏	四回	부	城北		H	H	以		111111
公会	,	国	车	园	_	念	所	庖	年	輯	鋒			H	- 1
計 以	相相		客丽	南	看	為	攻	ALE DOM	庚	斬	相	朝	安		
各看:	看	1	日二	財城	111	包出	城城	復於	山山	核落	學	貝十	維人	H	
莫 烟 爹	烟筝	家	7	-	Ξ	于	六	是	美	尽	幢	应	戍	Ī	
a 三 為	三為	為	1	家	梁	城	+	旋	余日	所	要	年	兵		
以 各 包 田	各版	包状		国	一	家	14	区区	是	搜	截湯	中辰	百新	H	
四家為會因各模濫成二家為會因年长成三家為會因牟氐則成国因一會因三尔亞成國因一等因古城国期一看烟三客賢韓一家為看烟阿旦城雜珍城合十家為看烟巴奴城韓九家為看烟臼模處炮公车客頭二家為看烟水屬韓一家為看烟舎薦城韓稱區炮三看炮廿一古匚耶羅城一家為看炮	韓水	寸	į	家為看烟南蘇城一家為国烟新来韓穢沙水城国烟一看烟一牟婁城二家為看烟	人国城一看烟川三梁谷二家為看烟梁城二家為看烟安夫連廿二家為看烟改谷	民四家尽為看烟于城一家為看烟碑利城二家為国烟平穰城民国烟一看烟十實	>> 图 	□王恩普覆於是旋還又其慕化隨官来者味仇婁鴨盧卑斯麻鴨盧揣社婁鴨廬	城廿年庚戌東夫余旧是鄒牟王属民中叛不貢王躬率往討軍到余城而余城国	□□合戦斬殺蕩尽所穫鎧糾一万余領軍資器械不可称数還破沙溝城婁城□□□	□鋒相遇王幢要截盪刺倭寇潰敗斬殺無数十七年丁未教遣歩騎五万□□	□□□朝貢十四年甲辰而倭不軌侵入帯方界□□□□□	□以麺□安羅人戍兵昔新羅寐錦未有身来□□□□□□□開土境好太王□□□		
鲁二			底語	新	為	看	Ŧ	慕心	牟	-	倭	倭	寐		
訂 水 料 田	水 料	神		木韓	佰	破破	14	随	上	刀全	茂	个新	班夫	H	
年看 9	看	Our	家	穢	梁	利	守	官	民	領	敗	侵	有	Ħ	
k 烟 為	烟 為	為	,	沙	城	城	墓	来	中	軍	斬	入	身		1
成例 有	河 有	有批	E	水世	*	宝	州	省吐	放不	貨架	殺無	帝士	来	H	307,100
京城 名	城 名	*4	7	国	為	為	F	仇	貢	械	無	界	H	H	- 8
為 雑 蔦	雜萬	萬		烟	看	国	売	樓	E	不	千				
冒 域	珍城	1	城岭	手	地	地工	勾全	鸭店	躬	可	七年	Н			200
2 合	合		機	烟	夫	摸	民	卑	往	数	7	H	H	H	
生土	<u>+</u>		看婌勾牟客頭二家為看烟求底韓一家為看烟舎萬城韓穢国烟三看烟廿一古□	_	連	城	国	斯	討	還	未				2
判別	300	人人	坳	作曲	IT	民	地	林	軍	破小	教	石城 連船	開	Fix	2
双看	看		看	吸城	家	出	看	情	到金	港	道	功以	上增	件	2
国斑斑	湖湖	H	H	=	為	_	枫	稿	城	城	騎	連	好	d	2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3
	巴山	T.		家	看	看	三	社	而	婁	五	船	太		3
冒 奴 一	奴は	7	7	為看	对	啦十	果海	要	亲城	城	7	H	吉	H	
三韓	韓		ŏ	掘	谷	青	買	廬	国		H	H	d	H	
下 九			耶			連						П			100
家人	家名		耶羅城一家為看烟	比雕	家	=	烘	斯全	10000000000000000000000000000000000000	H		197	li E	H	
五看	看		н іх	当	看	水為	看	最	H	H	H	7	計本	H	90000
月烟 家	超家	家		韓	树	看	烟	盧		d	d	d		d	
尔斯威国图一等风九家為看烟臼模戲 电暴力一等点	日常	43%	為に	豆比鸭岑韓五家為	二家為看烟新城三	連二家為看쌝□婁	国烟三看烟五敦城	東斯舎 鴨屋		城口口口口口那		平 平横	□寐錦□□僕勾		
4 快 包	快 创	台出	H	永	加及	班	叔	H	H	那	Q.fi	华	(英)	造	
'A 'Int	'link			311.0	7.5	14	****	_	-	211	160	117		ii t	
										11.7					

利城弥鄒城也利城大山韓城掃加城敦抜城□□□□遭婁壳城散哪城那旦城細城牟婁城□婁城蘇灰

40 41

魔王崎と 無拗									
童王情之									
使心主语。	10	9	8	7	65	5	4	3	2
高平因其医量析功	10	7	O	E.	100	J		1.00	-
以 稱便後 城 雪 · 也				通	帛	迷		城	城
而核順商羅利和		Н	遺	王	慎	乙	Н	H	無
新得之際期期期集十羅英調玉功巖大	H	R	製	デ	公	級	便	城	城
	d		答	苹	因	其	国		析
至 中國	F		以	秧	便	後	城		支
息事使高受運城率程	H	H	H	(III)	担温	順ウ	邓	加加	かが
夏 五	đ	来	Ŧ	羅	莫	誠	£	仇	厳
至数五加五工 林屏		背	年	遣		於	困	天	門
在廣本大十男是城初	Н	池泊	快工	使点	摊	是	追出	项	世
龍本浮雕八女。山山	Н	至至	教	呈	加加	五	出	Ħ	林
2. 野人公出主。 · 假	ă	任	遺	云	太	+	男		城
書意是至住魔角羅 (を表面に) 「本語」]来背急追至任那加羅従抜城城即帰服安羅人戍兵□新羅城□城	□遺使逫告以□□十年庚子教遺歩騎五万往救新羅従男居城至新羅城倭満其中官	倭	帛慎土谷因便抄得莫□羅城加太羅谷男女三百余人自此以来朝貢論事九年己亥百	迷之愆録其後順之誠於是□五十八城村七百将残主弟幷大臣十人旋師還都八年戊]便国城而残主困逼献出男女生口一千人細布千匹帰王自誓従今以後永為奴	城□□城□□鷹城仇天城□□□重至其国城残不服義敢出百戰王威赫怒渡阿	城無婁城析支利城巌門□城林城□□□□□□□□和城就鄒城□按城古牟婁城閏奴
では萬見女七一國	-	雅	斯	八湍	台里	城村	吉	畫	H
語核律國三百千期		従	芳	其	女	Ë	Ξ.	国	
四种双项百将人职	□尽更有来安羅人戍兵満□□□□其□□	技	往	国	Ξ	豆豆	Ŧ	城	
有馬勒·遺蘇及 細不	史右	城	双	項	日全	付	外	公不	H
(细胞 砍人 五布 用)	来	即	羅	破	次	主	布	菔	利
自然在班目的十九世界	安	帰	従	城	自	弟	干	義	城
種取男也世界面散動寶	雞	服	男民	池	此	井十	匹温	取出	就
文 医 0 (0 (大 歸 工	八	羅	加城	如	以来	台	平	뷝	城
大維斯奴米臣王昌堪觀	兵	人	至	客	朝	Ŧ	自	単文	
天人至客朝十月獸	満	戍	新	為	貢	人	1	玉	技
a大新為夏人等王扬州 在羅民和穆德威斯	H	台	城	帰	車	脈	今	赫	古
		新	倭	王	九	選	以	47	作.
板拱壓串聯令赫古史		雑	満	請	年	都	後	度	基
新修工九團以包全期	八	加	丹中	可大	두	八年	水為	利	即
江州海羊都後要嬰鄉		城	官	至	百	戊	奴	利水	奴
而具領尼人列阿加州		倭	622	恩			客	遣	城
農中太死革為利盟皇	H	海(禾	力至	シ	運行	教治	至	刺油	67
的官王百八般水放學	Ħ	倭満倭潰城口	車方至倭賊	通王巡下平穰而新羅遣使白王云倭人満其国境潰破城池以奴客為民帰王請命太王恩廢矜其忠騎	残違誓与倭和	戌教遺偏師観	客太王恩赦先	遣刺迫城横□	城貫奴城乡覆
後兵堡於八名盧城州		城	賊	忠	倭	師	赦	横	1
兩方後運教大剌貫寺 便至補鹽度主自奴邸	晝	Ш	退	温成:	和	覾	先	U	18
便至補證度主迫效學									
農健員有偏區組織協									
AND COME OF THE PARTY AND									

电阻器器 印压

THE REPORT OF THE PARTY OF THE													
所述													
製成朝命五清金量享南昭													
財主 財主 財子 財子 財子 財子 財子 財子 財子 財子 財子 財子													
班。 一型是是 更 質 然 影 犯 。	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
異球体性在國際部項日至	(王市	(384)	rh	*	÷	疋	-	音音	連	2111	N#	10	
州日 文章一葉 東世區 戊五	城	灵	来	未	楽	#	九	背	轰	幸	告	2	
型以体性在是各部设订全 树田 x 是一桌 观世遗决五 明 4 报来 提示医翻子 安徽 2	雑	取	朝	可	£	有	登	昇	浮	南	始	2 3	
可選甲至上的太陽於移動	珍	壱	貢	称	年	九日	作品	天丽	电纸	下	祖	4	
金城年图《甲王自溯利 <u>总</u> 1845年18日第四五日本也	功政	一位	压	数於	版在	安徽	ラ為	加合	後	<u> </u>	会	4 5 6 7 8	
消丹来恆砷窑图王百古也	筣	Ë	以	是	艺	棄	永	世	造	美	主	7	
古城海學是非澤氏發水出	城	模	辛	旋	未	国	楽	子	渡	余	之	8	
復電海平水力・自宅王自	勾	風地	卯年	馬田	古	出	全	船留	が沸	电利	割	9 10	
就出租值包围专兵不赔比	垃圾	各	来	過	稗	寅	惠	王	流	大	也	11	
北部本央专用自動物配頭	古	模	渡	妿	麗	年	迟	以	谷	水	田	12	
是 100 mm	須	瓜	冊	半	个自	九日	H	追	心木	王	目	13 14	
夏村 第日泉末山日天	2412	幹	百	東	ñ	#	阜	治	西	津	大	15	
本一可因下部中	城	氏	残	来		九	天	大	城	言	余	16 17	
8万 往 西 棟 王 新 是 名	利城維珍城與利城勾牟城古須耶羅城莫□□□	道攻取壱八城臼模盧城各模盧城幹氐利□□	由来朝貢而倭以辛卯年来渡海破百残□□蓋羅以為臣民以六年丙申王躬率水軍	羊不可称数於是旋駕因過袈平道東来□城力城北豊五備海遊觀土境田猟而還百	永楽五年歳在乙未王以稗麗不息□□躬率往討過富山負山至塩水上破其丘部洛	日	二九登祚号為永楽太王恩沢□于皇天威武振被四海掃除□□庶寧其業国富民殷	龍首昇天廟命世子儒留王以道興治大朱留王紹承基業伝至十七世孫国岡上広開	連葭浮亀然後造渡於沸流谷忽本西城山上而建都焉不楽世位因遺黃龍来下迎王王	巡幸南下路由夫余奄利大水王臨津言曰我是皇天之子母河伯女郎鄉牟王為我連	惟昔始祖鄒牟王之創基也出自北夫余天帝之子母河伯	17	
羅貼制亞松島建區子	H	H	暑	力	往	云	近振	豊	눎	技是	市	18 19	
How 北京 Gi to 水都天色			羅	城	討	遷	被	紹	建	皇	字	19 20	
開為豊富山海县県名町		城	以	北	過	就	四	水井	都	天	母	21	
開為豐富山河 基為之河 內部臣五山陵 捷至不子但	城	医	台田	登五	量	陵	機掃	空業	祭	坖	갤	22 23	
布琳民為自於歷史第日女	□城□而耶羅□珠城□□城□□	□城関弥城牟盧城弥沙城□舎蔦城	民	備	負	於	除	伝	楽		7	24	
麻全CC指、L是一至世河即	耳马	牟	以	海	山	是		至	世	ांग	女郎	25	
電電六色至立 十位伯討 城 年觀 監 碑 庶 大 囟 女 卯	雞	通	六年	班	生	证	唐	+	贵	伯	剖	26 27	
電量六色至立。十位伯討 城 平觀醫碑歷 七 図 安 卯	F装	弥	古	土	水	銘	寧	世	遺	女郎	野	28	
林西土 水鉛寧世貴 題降	城	沙	申	境	上	記	其	孫	黄	835	世	29	
此步申端上配复移奏器出		城	甚	田田	破	熟	栗田	出	10	牟	剖卵降世生面有聖□	30	
的,主田 战 動 其 國 於 皇 生	协	높	率	盗	丘	以	富	E	令	土	聖	31 32	
2.躬崩县盟图图来至于		萬	水	還	部	示	民	広	迎	我	聖	33	
灌筋巨《窗上下鳥者	2 15		軍計			後世		開十	圭			34	
德州 登第 次民 鹿 中 力 擊	功		湖	新	全	馬	穀	境	於	段	H	35 36	
試配賣各機假用主配	妏	城	残	羅	百	其	豐	平	忽	净	H	37	
阿許然大臣五五王敬	城豆奴城沸	古	国	旧	営	弔卅有九晏駕棄国以甲寅年九月廿九日乙酉遷就山陵於是立碑銘記勲績以示後世焉其辞曰	熟	安位	本市	応		38	
皇副新七屬蒙鏡發導	严	阿旦城古利城	討滅残国軍口	残新羅旧是属民	六七百営牛馬撃		五穀豊熟昊天不	土境平安好太王	土於忽本東岡履	葭浮亀応声即為	Ų.	39	
双热效耀百其甚平包度	H		Ħ	民	撃		示	至	履	当	命駕	40 41	
村 中原 海 斯 斯 中 大 时	timed:	SHOW					100			2449	VIII.		

省の集安にある。今春に入っ のカギともいわれる高句麗の好 **本主碑は、中華人民共和国主味** 解験や改ざん説をめぐって発言 見たかなりの人びとが、確文の 国人にも許されてから、それを て、好太主碑の参観が一般の外

四、五世紀の古代日朝関係史

とろに石ころが塗られた痕跡は (広開土主) 碑に触れないわけ は、肉眼や拓本からみても、明 祖都牟王の創善なり」の部分で を含れいに取るためにところど 第一行目の管理の「惟れ昔、始 確かに認められ、また、第一面 固 古墳で、東洋のピラミッドとも の太王陵職も否定はしきれな 間に驀進を想定すると、将軍権 南方一・二キロにあって、その だ、碑が将軍塚の主軸線上、西 から真の好太王陵と考える。た い。いずれも段集の燃々とした

王陵」略録(せん)の出土など との接触を防ぐためにつくられ おそわれた。

時代に立っているような情覚に た、曲がひくねった適路を通っ おりに伝わってきて、まざにタ 色鮮やかな当時の生活図が展開 て、両古墳の石室内に入ると、 イムトンネルをくぐって高句麗 し、当時の意吹がユーモアたっ

るいは機代の土城があったとこ ろへ、高句麗の悪都に伴って、 よく残っているが、その他は、 る。現在、北麓の一部は比較的 石葉の城壁が築かれたといわれ の発掘調査の結果によると、 城とほぼ悪なっているが、最近 ・七世の国内城跡は、近代の県

集客でみた と深願(そうびょう)の建物と は、王玺の社種(しゃしょく) とろでみつかった東台子遺跡 城の東壁から東へ五〇〇計のと 失われているようである。国内 都市的発展によって、ほどんど

であった。こ 挑壊の五号墓 画古墳は、五 もう一つの壁

ている。神仙世界の衰弱さども が、五色の色彩も見事に描かれ 接、四神図を主題とした壁画 が築かれ、花とう名の巨石に直 しでは地下に単第の横穴式石塔 3 を残すだけで、開発によって失 われてしまったのは惜しまれ 集安は、高句麗の旧都にふど

に、そこからは

が、その周辺を含めた総合的研 本主碑」、とくに、その碑文だ 究の必要性を改めて痛寒させら けが脚光を浴びている昨今だ いわば遺跡の宝庫である。「好 わしい多数の遺跡群を擁する、 (九大助教授・考古学)

中でろから後半 五号墓は六世紀 伝わってくる。 厳粛な雰囲気が

の築造である

さきの舞踊

鮮やかな壁画に 今も当時の息吹

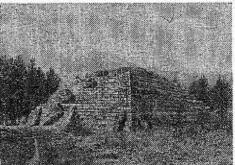
王碑だけでな

ただ好太

たびの私の踏査 思われる。この 歌されたように の難しざも再酸

程で、問題 る。その適 なってい もまして職 し、以前に

際が議と



が目的であっ みようとするの 化をトータルに 間の産中期の文 平壌悪都以前の く、四一七年の

好太王陵の説がある将軍塚古墳

樂安県博物館

そこでます、

(林至極館長)

ピラミッド形積岩塚

吉林省友好訪中団の団長としてある。今年八月、第二次四日本韓国考古学福説』などの訳書が 所、福岡県教育庁を経て七三年年、大阪生まれ。京都大学大学年、大阪生まれ。京都大学大学年、大阪生まれ。京都大学大学 から現職。東アジア者古学を専 集安を暗楽した。 『韓国金得史』「培補改訂

の文化遺産を残

した当時の中枢

たような高句麗

さて、いまみ

遷を垣間みた原

いでおった。

で、そとに高句 塚とは対照的

鄭嶽画古墳の変

もなく国都であ 間は、いうまで

句麗の建国以前と以後の文物が た。その両側の展示室には、高 さて、集安といえば、好全 思った。 らかに石とうを塗布した上から っかけになったのではないかと の量布が依ざん脱を生みだすき とが知られた。こうした石とう 「基」の学を彫りこんでいるこ ともあれ、好全確は、王陵

それぞれ陳列されていた。

未決着の王陵比定

に紹介されてい 敗集がかんたん とれまでの研究 **本主碑に関する** た部屋には、好 館の正面を入っ を訪れた。博物

増こそ、両者間の近さや、 るのか、実はその王陵比定の問 ってみれば、真の好太王時であ 題に決着がついていないのであ トルのさとろにある太主陳古 私は、碑から三、四〇〇×

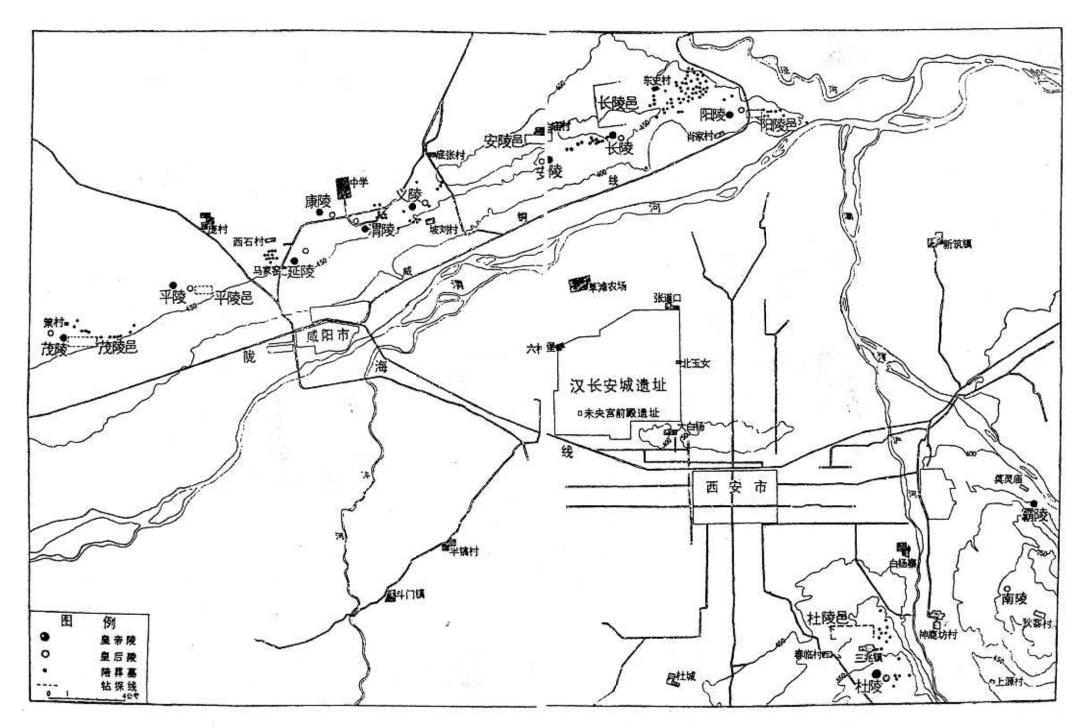
境や将軍塚に代表される積石塚 ち七千歳が現存する。太王陵古 集安とその周辺に一万二千萬は 称される帝王陵にふさわしい。 封土境へと変遷するが、封土増 どあったといわれるが、そのう は、四〇〇年前後を増として、 ととろで、高句麗の古墳は、 七千の古墳が現存

換は、その代表例である。外気 初の樂道とされる舞踊塚と角批 知られる。四世紀末から五世紀 には壁画をもつものがいくつか

都山城に王都が移されたのであ 北二・五世のところに当たる丸 常平時には、王都は国都にある ころは玉都である。そして、 が国都であり、王宮のあったと 明によると、政府機関の所在地 物考古研究所の方起東先生の説 に関して、ご案内役の吉林省文 り、国内域と呼ばれた。この点 緊急時には、国内域から西

平面がほぼ方形で、開囲約一 遺産の宝庫、集安

00



前蓮阜帝陸分布区 (『蓮朴陵陵園遺址』より)

配を大々的に報道した「中央

高

近ころでは、好太王碑の踏査

がいっそう強い。とりわけ、

包護文化への関心は高い。 日報と紙をはじめとして、 -

る。とくに、同胞が一七四万 らやましがられるのが常であ ことをもらすと、きまってうに高まっている。私が助中の 学研究者の助中願望は日ごと の中国入りもあってか、考古 は、国連やスポーツの関係者 て当然のことである。最近 史的・文化的関連性からいっ

人も住むといわれる東北地方 (旧灣州)に対してはその感

采厅

た。その間の旅行を通じて得 術交流を深めることであっ ね、また、両国の研究者と学 太王碑で有名な集安の地を訪

「収穫の一つは、両国の考古

国と絡称) に対する考え方 主義人民共和軍(以下、 学研究者の相手園や朝鮮民主

かがうことができたことであ を、それぞれの土地で直接つ

している。ところが、

西 谷

正

にしたに・ただし氏

院修了。編署に「考古学かれ。九州大学文学部助教授 (考古学)。京都大学大学 昭和13年、大阪府生ま

など。福岡市在住。

文化の源流」(全元龍著・文化の源流」(全生社)、訳書に「韓国

行の飛行機が二時間遅れたた め、空港内で暇をもてあまし た。というのは、成田発北京 来事と思える場面に遭遇し の初日に当る八月十九日 にとってきわめて印象的な出 ある。その点で、今回の訪中 私

5

吉林省集安の駅頭に立っ

間における学術交流が必ずし らもうかがえるように、両国 の往来が途絶えている現状から もに、留学生の交換や研究者 の相違しがささやかれるとと 係者の言葉の端端で、「見解 に対しては、中国の考古学園 の陶磁器等々に強い関心を示 も円滑に進展していないよう 共和国 を乗せた飛行機が飛来すると ドに参加する共和国の選手団 ている間に、ユニバーシアー

員に先がけ、

われを忘れて堤

でつかった。水は冷たかった防を駆け降り、鴨緑江に膝ま

興奮する胸のときめきを

ニョンハシムニカノ(こんに おさえながら、思わず「アン

ほどの対岸で水浴びをしてい まった。川幅二〇〇メー ちわく)」と天声で叫んでし

た、共和国の人びとが白い布

に立ったとき、同行の他の団

目にしたときの感動は忘れら

眼前に共和国の山並みを

れない。また、

鴨緑江の河畔



好太王碑の前で吉林省文物考古学 研究所の研究者らと訪中団一行

見え始めた学術交流の灯

聖地、(頻解民主主義)への期待つ

古学に対して示す関心の高さ

韓国の研究者が、

中国の考

そのこと自体は、両国間の産

には並々ならぬものがある。

考古学研究の実情が調査され いる 海の研究が活発になってきて 主要な舞台とする高句麗や渤 たり、また、朝鮮半島北部を て、学界でも共和国における 明されている。それを受け 他方、中国では、韓国にお

ける経済発展に注目し、 碑、百済武學主變、 前期の全谷里、高句麗中原 の間に発見された旧石器時代 の研究成果が吸収されてい 本を通じて韓国考古学の最近 た、数カ月遅れとはいえ、日 とくに、過去一〇年ほど 新安発見 E

かった。 緊密な展開を祈らざるをえな のピョンヤン入りのデレビニ につけ、両国間の学術交流の ュースを北京のホテルで見る 字会談に伴う、韓国側代表団 くわしたり、また、南北赤十 中団が訪中している光景に出 青年五〇〇人よりなる親善訪 での手定で、共和国の各界の 人月二十三日から九月五日ま

年少女が四十四人という大勢

北京行の飛行機には、「愛知

林省友好訪中団」が塔乗する た、私たち「第二次西日本吉

県少年少女親菩訪朝団」の少

とすぐ帰途についていた。ま

Ş は、いちいち事例を挙げて改 顧問な進展をみせていること 国および中国との学術交流が めて指摘するまでもなかろ さて、日本はといえば、 問題は共和国との関係で

> 東アジア考古学を専攻する私 で同乗していた。 度目という中国東北地方に比 訪れている韓国や、 の立場としては、何度となく べて、未踏変の共和国は、 コンピ 朝鮮半島を中心に 今回が三

つい先月、こんどは中国側か らみた共和国とは対照的に、 後に残されたフィールドとし 夢にまでみる聖地に思え 一九七四年秋に板門店か

しているように思えてならない。 が、森林のなかで見えかくれ 流のかすかな灯(ともしび) 半島の考古学をめぐる学術交 ュースに接した。いまたしか 考古学者が来日するというニ されることになり、 の文化達産が、 関という共和国にある高句麗 を振って答えてくれた。 に、スポーツについて、朝鮮 **大阪でのオープンを皮切り** 帰国すると、外国では初公 全国十五カ所で巡回機示 九月七三日の 共和国の